

## 大手町・丸の内・有楽町地区公的空間活用モデル事業2015

道路空間を活かして街に新たな賑わいを生み出し、さらなる国際競争力の強化を図るため、年度を通じて社会実験を実施します。期間中は、丸の内通りを歩行者に開放し、移動式店舗・オープンカフェやアート等を楽しめる空間へ。さらに、大丸有地区内外の主催者による、街の通りを活用したMICE<sup>※</sup>等のイベントを積極的に実施し、多くの人々を魅了する劇場的空間を創出します。

※MICE:企業会議(Meeting)、企業の報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・イベント(Exhibition/Event)の総称。

期 間: 2015年7月31日(金) ~ 2016年3月31日(木)  
丸の内通り歩行者用道路時間: 平日11:00~15:00/土日祝11:00~17:00  
場 所: 丸の内通り、行幸通り、行幸地下通路・広場、大手町川端緑道  
<http://www.ligare.jp/model-pj2015/>



## 丸の内イルミネーション2015

丸の内通りをはじめとする街路樹等約200本が、丸の内オリジナルカラー“シャンパンゴールド”のLED約100万球でウインターシーズンのきらめく街並みを演出します。太陽光や風力などの自然エネルギーで発電されたグリーン電力を使用し、環境を大切に地球にやさしいイルミネーションで、約100日間冬ならではの夜景をお楽しみいただけます。

実施期間: 2015年11月12日(木)~2016年2月14日(日)(予定)  
点灯時間: 17:00~23:00(予定) ※12月は24:00まで点灯予定  
場 所: 丸の内通り、JPタワーKITTE前 他



過去開催の様子

## 東京ミチテラス2015

東京・丸の内エリアで光の祝典、「東京ミチテラス2015」を開催します。東京駅丸の内駅舎には、スペシャルライトアップを施し、目前に続く行幸通りではフルカラーLED照明による光のプロムナードを創出。丸の内通りには、ドイツのクリスマスマーケットをイメージした「Marunouchi Christmas Market」が、大手町・丸の内・有楽町エリアの各所には、光るユニークなオブジェ「Lighting Bench Art」が登場します。

開催時期: 2015年12月24日(木)~12月27日(日)4日間(予定)  
※一部イベントは12月1日(火)より  
会 場: 東京駅丸の内駅舎、行幸通り、丸の内通り 他



実施イメージ

街づくり活動から、歴史、イベントなどこの街の情報がもりだくさん!

大丸有協議会

検索

[www.otemachi-marunouchi-yurakucho.jp](http://www.otemachi-marunouchi-yurakucho.jp)

編集 後記

大丸有で活躍する女性の皆さんへのインタビューを通じ、この街の新たな活用法や魅力を知ることができました。読者の皆様もこの特集をご活用頂き、素敵なライフスタイルにお役立て下さい。



発行: 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル635区

TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367

<http://www.otemachi-marunouchi-yurakucho.jp/>

\*本誌に関するご意見、ご感想等ございましたら右記までお寄せください。 [machizukuri@otemachi-marunouchi-yurakucho.jp](mailto:machizukuri@otemachi-marunouchi-yurakucho.jp)

「大丸有(だいまるゆう)」とは、大手町の「大」丸の内の「丸」有楽町の「有」からとった造語です。

ON!

Old but New

伝承を残しながら、変わり続ける街大丸有  
まちづくりを発信する情報誌

2015 WINTER  
035

わたしの

大丸有  
活用法。



# 大丸有 活用法。

大丸有はイキイキと働く女性たちが躍動している街！  
今回は、この街で活躍する素敵な女性たち4名にインタビュー。  
みなさんはこの街をどのように活用しているのか？  
さらに、この街の魅力についても語っていただきました。

## ラグジュアリーな街は 地域とつながる優しい街でもありました。

01

スターバックス コーヒー 丸の内ビル店<sup>1</sup>

アシスタントストアマネージャー 穎川 裕理 さん(大丸有歴1年)

### 地域交流イベントを通じて 街のあたたかさを実感しました。

現在の店舗に異動してきたのは今年の3月末。それまでも丸の内にはプライベートでよく遊びに来ており、「KITTE<sup>2</sup>」で買い物をしたり、新丸ビル7階にある飲食店ゾーン「丸の内ハウス<sup>3</sup>」で食事を楽しんでいました。ずっと「ラグジュアリーでかっこいい街」という憧れのイメージを持っていたので、異動が決まった時は嬉しさ半分、不安半分でもとても緊張(笑)。でも、不安は杞憂でした。かっこいい街だから気取った方が多いと思っていましたが、気さくに声をかけていただいたり、今では安心して働いています。

遊びに来ていた頃には気付かなかったのですが、この街は、地域交流が多く、親しみやすい街。夏に行われた「大丸有夏祭り<sup>4</sup>」や「マルキューブ<sup>5</sup>」などで定期開催されている様々なイベントにより、街はいつもにぎやか。スターバックスにはコミュニティコネクションと呼んでいる「地域活性化に貢献しよう」という会社全体の取り組みがあり、打ち水プロジェクトにはサポーターとして参加させていただきました。こうした交流を通じて、自分自身のコミュニケーション力も日々磨かれているように感じます。こんなに楽しいエリアのイベントを活用しないのはもったいないですね。ぜひ、多くの方に参加して頂いて、街のあたたかさを知ってもらいたいです。



「この街のイベントを活用しないのもったいない」と話す穎川さん



女性ならではの身体の悩みに“食”を通じたアドバイスが受けられる「まるのうち保健室」(2014年度9回実施、参加者約1000人)



ベビーカーで来店するお母さん方も多い「スターバックス コーヒー 丸の内ビル店」

### 子育て中の女性にもやさしく 子どもとも一緒に来たい街です。

また、この街は交通機関が充実しているだけでなく、駐車スペースが多いので車で来やすいですし、ベンチで一休みできる休憩スペースもたくさん。緑に囲まれた「一号館広場<sup>6</sup>」の休憩スペースは私の大好きな場所です。歩道が広いのでベビーカーが余裕を持って通行でき、子連れでも安心して歩けるのもいいですね。私の勤める店舗は、丸ビルの地下1階にあるのですが、ベビーカーで来てくださるお母さん方も多いんですよ。

丸の内はかっこよさとあたたかさを併せ持つ街。実はこれから産休に入るのですが、子どもが産まれた後に「エコキッズ探検隊<sup>7</sup>」に参加させてみると、夢が広がりますね。また、「まるのうち保健室<sup>8</sup>」をWebで見てもっと詳しく知りたいなど、とても気になっています。産休後、仕事とプライベートのどちらでも戻ってきたいと感じています。

限定のプレミアムコーヒー豆、スターバックスリザーブ®を専用マシンでご提供

丸の内という街が  
私の感性と価値観を  
育んでくれました。

02

(株)ニッポン放送<sup>9</sup> 編成局 制作部  
アナウンサールーム 主任

アナウンサー  
しんぼ ともえ

新保 友映 さん(大丸有歴12年)

自分の感性でキャッチした情報を  
丸の内から発信しています。

ニッポン放送に入社して13年目。ほとんどの歳月を丸の内でも過ごしていますが、ラジオのアナウンサーとして、「この街で仕事ができよかった！」と実感することがたくさんあります。たとえばこの街には、最先端のファッションやアート、ビジネスなど、あらゆるもの

「6th by ORIENTAL HOTEL」のテラスにて

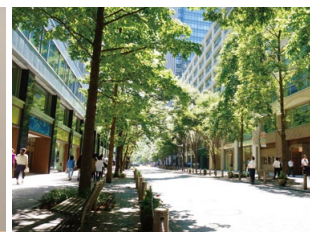
がギュッと凝縮されていますよね。ですから時間が空いた時に、「丸の内仲通り<sup>10</sup>」などを歩いていると、「今、何が流行っているのか」など、新聞や雑誌だけではわからない最新のトレンドをつかむことができます。そうやってキャッチした情報を「丸の内では今…」と、すぐに放送に活かせるのですから、放送人にとっては本当にありがたい街。丸の内以外のところで働くなんて、私には想像できません(笑)。

今は子どもが小さいので、以前のように街をゆっくり楽しむ時間は取れません。それで

も、ランチをさっと済ませて買い物をしたり、気になるお店をチェックしたり、会社の近くにある「6th by ORIENTAL HOTEL<sup>11</sup>」でちょっとお茶をして、気分転換をしています。また、毎年行われる街の音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(熱狂の日)音楽祭<sup>12</sup>」は、子連れでも気軽に参加できるのがうれしいですね。慌ただしい中でも、上手く時間をやりくりすれば、たくさんの刺激を受けられるし、リフレッシュもできます。友人にも「丸の内でも働けていな」と羨ましがられています。



「丸の内以外で働くことは想像できません」と話す新保さん



最新のトレンドが集う「丸の内仲通り」



スタジオでは飛び切りの笑顔

打ち水イベントの司会をして  
丸の内への愛情を実感しました。

私は2011~14年まで、「打ち水プロジェクト」イベントの司会を務めさせていただきました。現在では「大丸有夏祭り」の中の一つですが、この日は丸の内でも働く方を中心に、約1000人が幸福通りに集まり、一斉に打ち水を行います。女性はもちろん、普段はスーツの男性

も浴衣を着て、会社同士の垣根を越えて交流している姿は本当に楽しそう。そんな様子を見ると、やっぱり丸の内はみんなに愛されている街なのだな、と感じます。そして、こんなに素敵な街で働くことができ、本当に幸せ…と思うんです。

丸の内は私の価値観を作ってくれた街。これからもずっと私に刺激を与え、癒してくれる大切な場所であってほしいです。

## かつての丸の内からは 想像できないほど素敵な街になりました。

03

(株)東京會館 食品事業部

部長代理 藤田 早紀子 さん(大丸有歴23年)

### 一流のものに囲まれて 自分自身も磨かれました。

私が東京會館で働き始めた23年前、丸の内はビジネス一色の街で今のようにたくさんのお店はありませんでした。銀行が3時にシャッターを下ろした後は通りが閑散として、カラスもよく見かけたくらい(笑)。そんな街に丸ビルや新丸ビルのようなランドマークや、ブリックスクエアなどが次々にできて、外国から旅行者もくるようになるなんて、当時は想像もできませんでした。その過程をずっと見てきたので、今の丸の内は本当に素晴らしいと感じますし、個人的にもとても愛着があります。

でも、丸の内には昔から変わらないところもあります。それは、ここが一流のものが揃う場所だということ。日本を代表する大企業が集積していますし、お店や飲食店も、すべてにおいてクオリティが高いんです。一流のものや人に触れる機会に恵まれて、自分自身も自然に磨かれてきたように感じます。

私が就職した頃は、企業の前線で活躍する女性はまだまだ少なかったのですが、この街を歩く女性はとても優秀で、颯爽として見えました。そのイメージは今も変わりませんが、丸の内でも女性が活躍できる場が以前よりも広がり、キラキラ輝く女性をこの街でたくさん見かけるようになりました。



「キラキラ輝く女性をこの街でたくさん見かけるようになりました」と話す藤田さん



東京會館が運営する帝劇ビル地下1階の「Sweet Plaza」<sup>15</sup>



一号館広場でひと休み

素敵な女性が多いことも、丸の内の魅力の一つかもしれませんね。

### 食に興味のある私にとっては 天国のような街です(笑)。

私はチョコレートが大好きなのですが、このエリアには「ラ・メゾン・デュ・ショコラ<sup>14</sup>」や「カカオサンパカ<sup>15</sup>」など、世界有数のショコラティエのお店があります。パンを買おうと思ったら「ラブティック ドゥ ジョエル・ロブション<sup>16</sup>」に「VIRON<sup>17</sup>」に…と、選り取り見取り。食に興味のある人にとって、ここはたまらなく幸せな街ですね。また、一号館広場や「Café1894<sup>18</sup>」でゆっくりしたりと、贅沢な時間を過ごしています。それに本好きの私には「丸善丸の内本店<sup>19</sup>」があるのがうれしいですね。

私共の東京會館は現在、建て替えのため休館中ですが、2018年に営業再開するのがすごく楽しみ。これまでの丸の内の変化を見れば、古き良きものはきちんと残しつつ、もっと素敵な街になるとわかっていますからね。

「Café1894」にて

楽しみから学びまで  
すべてが揃った  
パーフェクトな街です。

04

(株)読売プラス 事業本部

よみうりニュースラボ担当

せんざき ゆり

先崎 友里 さん(大丸有歴2年)

大手町に勤め始めてから  
まっすぐ帰るのがもったいなくて。

2年前から大手町にある読売新聞ビル3階の体験施設「よみうりニュースラボ<sup>20</sup>」で、一般の方に新聞記者体験や新聞づくりの過程をご案内する仕事をしています。働き始めて、大手町はどこに行くにもアクセスがよいことを知って驚きました。わざわざ電車に乗らなくても、丸の内や有楽町、ときには銀座まで歩いて行

「ケンタッキーフライドチキン読売新聞東京本社ビル店」にて

けるんです。素敵なお店を見ているうちにファッションセンスが磨かれたのか、母に「今の仕事についてからおしゃれになったんじゃない?」って褒められました(笑)。

気軽な飲み会によく利用するのが、読売新聞ビルの大手町仲通り沿いにある「ケンタッキーフライドチキン<sup>21</sup>」。都内では珍しくビールが飲めるお店なので、仕事の後に友人とチキンをつまみながらおしゃべりを楽しんでいます。また、丸ビル4階にある「プランツ・プランツ丸

の内店<sup>22</sup>」のかわいい植物を見て癒されたりしています。リフレッシュしたいときは、帰り道によく「行幸通り<sup>23</sup>」まで足を伸ばします。皇居から東京駅まで続く一直線の道は、ちょっとほかの街では見られない風景を生み出しています。冬になると仕事が終わる17時半頃はちょうど、街灯りを背景に、ライトアップされた「東京駅<sup>24</sup>」が一番綺麗に見える時間帯。くっきりと浮かび上がる駅舎は、毎日見てもうっとりしてしまうほど素敵です。



「お客様が楽しめるようにご案内しています」と話す先崎さん



ライトアップされた東京駅はうっとりするほど素敵



人気の猫ピッチャーグッズ等を販売する「よみうりショップ」

大人から子どもまで  
楽しみながら学べる街です。

大手町は、「大人の街」というイメージかもしれませんが、私が働く「よみうりニュースラボ」には家族連れや生徒さんもよくいらしゃいます。新聞記者体験をしたり、自分が作った新聞を持ち帰ったりできるサービスは小中学生の方にも人気があるんですよ。「楽しかったです!」と仰ってくださったお子さんの中か

ら、未来の新聞記者が誕生してくれると、本当にうれしいです。

私自身もこのエリアで仕事をしながら成長できればと思っています。今興味を持っているのは「丸の内朝大学<sup>25</sup>」。面白そうなプログラムばかりですが、私はダイエットのために体作りを学びたいと狙っています。朝を自分の学びのために活用して、昼は仕事、夜はリラックスタイム。ここは、充実した毎日を過ごすにはうってつけの街ですね。



# 私たちのおすすめスポット

今回インタビューしたみなさんがよく行くおススメの施設や

イベントなどをマッピングしてご紹介します。ぜひ一度、訪れてみてください！



**KITTE**  
心地よさ、奥深さ、愉しさを伝えるショップ&レストランが揃っている  
<http://jptower-kitte.jp>



**大丸有夏祭り**  
打ち水を始め盆踊り等、大丸有地区でさまざまな夏のイベントが行われる  
<http://www.otemachi-marunouchi-yurakucho.jp>



**マルキューブ**  
高さ、幅、奥行きがそれぞれ30mの大空間では、一年中各種イベントが行われている  
<http://www.marunouchi.com/top/marubiru>



**一号館広場**  
都心とは思えないほど深い緑に囲まれ、気軽にアートに触れることもできる  
<http://www.marunouchi.com/top/bricksquare>



**6th by ORIENTAL HOTEL**  
「東京に世界一の大人の遊び場を」をコンセプトに異国情緒を感じさせてくれるレストラン  
<http://www.6thbyorientalhotel.com>



**ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン**  
「熱狂の日」音楽祭  
日本で今年11年目を迎えた毎年異なるテーマを設定する世界最大級の音楽祭  
<http://www.lfj.jp>



**ラプチック ドゥ ジョエル・ロブション**  
丸の内ブリックスクエア店  
独創的でありながらフランスの伝統に基づいたバリエーション豊かなお菓子和パンを販売  
<http://www.robuchon.jp/laboutique>



**Cafe 1894**  
三菱一号館創建当時の空間を復元したクラシックな趣のミュージアムカフェ  
<http://mimt.jp/cafe1894>



**丸善 丸の内本店**  
「Book Museum」をコンセプトに国内外書籍、高感度なステーションナリー等が取り揃う  
[http://www.junkudo.co.jp/mj/store/store\\_detail.php?store\\_id=3#other](http://www.junkudo.co.jp/mj/store/store_detail.php?store_id=3#other)



**丸の内朝大学**  
10種類の学部からなる出勤前の一時間、学び、体験する朝の新しい私たち  
<http://asadaigaku.jp>



**行幸通り**  
東京駅から皇居へまっすぐに続く。様々な人々が集うイベント空間としても利用され、両脇には御影石のベンチが配されている



**KFC 読売新聞東京本社ビル店**  
オフィスワーカーをターゲットに、コンセプトを「憩」とした落ち着いた店内では、ビールも飲める  
<http://japan.kfc.co.jp/news/news140312kfc.html>